

全関西大学女子バスケットボール連盟
2024年度 第3回 常任理事会 議事録

1. 日時：2024年10月21日（月）19:00～

2. 場所：zoom

3. 出席理事数

理事氏名 荒木初広、西川幸穂、古本ルミ、今西正泰、坂井和明、玉井里英（競技部長代理）、畠岸邦枝、永田康一（加盟校PJ）

4. 学生委員

足立奈月、中間莉子、鶴田彩海、平本愛純、松本知夏、大久保結子、秋岡茉菜、川上愛乃、稻垣遙

5. 書記：川上愛乃

西川本部長より、第2回常任理事会（9/9）議事録確認について説明があり、荒木専務理事が議長となり理事会が開始された。

1. 審議事項

1. リーグ戦最終日の準備状況について

足立学生委員長より、資料をもとにリーグ戦最終日の準備状況について、フロアMAPにもとづき、前回の理事会から変更点があった座席の数・チーム導線やチーム出入口の確保、ベンチ裏のチーム席について説明があった。また、混雑を避けるためのうちわ型チケットの作成すること、モザイクアートや閉幕ムービーを用意すること、サインボールを選手になげてもらうことなどについての説明があった。

質疑において、閉幕ムービーについて、上映時間や放映タイミングと方法について質問があり、閉会式の写真撮影後に上映すること、大きなモニターをかりて上映を行うなどの回答があった。

また、スターティングファイブの紹介演出でサインボールを投げることについて、過去に身内に投げてしまうことがあったため、チーム関係者などに投げてしまうことを避けなければいけないという意見があった。

2. 秋季トーナメントの準備状況について

大久保学生委員より、資料をもとに、秋季トーナメントの参加校・会場について、前回の理事会で変更があった表彰チーム数についてパンフレットの表彰規定の記載を変更したこと、チームのモチベーションアップを目的として個人賞を増やしたこと、代表者会議について日程的に休日開催できないことから、10月31日19時からの平日開催を予定していること、代表者会議をオンラインで行うことについて、パンフレットの販売の変更についての説明があった。

また競技部として、玉井競技部副部長より、今年度はダブルヘッダーがなく開催できること、並行して開催をする交流戦について 1 チーム 2 試合の試合数の確保、会場確保を行っていること、本戦と交流戦の会場を別にしている理由について、大会運営の問題上と公式戦の厳しさを味わうより交流戦でおもいきってバスケをすることを感じてほしいいためであることが理由である、との説明があった。

質疑では、表彰規程の優秀選手賞を 3.4 位のチームから各 1 人となっているが、1.2 位も加えて、1~4 位の 4 人の表彰を行ってはどうかとの提案があり、畠岸広報渉外部部長より、出場が少ない選手に表彰の機会を増やす目的もあったため、修正したいと回答があり、修正することになった。

3. 加盟校減少対策プロジェクトの取り組みと交流戦の実施について

(1) 3・4 部チームに対するヒアリングの取り組みまとめ

永田理事より、リーグ戦中にヒアリングを行ったことについて、部員数ももちろんであるが、チームを存続していくうえでお金の問題が一番大変であるとし、大学からの支給に時間がかかるため、振り込みの猶予があるなどすると学生の負担が軽減されるのはという意見があること、他大学でも参加費を何とか集めている中で、参加費を人数に合わせた負担など軽減策が取れないかという意見があると報告された。

意見交換では、金銭の負担に関しては学連としての今後の検討課題でもあり、加盟にあたり、特定の学生が多額の立て替えをするような状況もあり、後に精算されるとしても、何らかの対策が必要であること、人数が少ないチームがいかに連盟に加盟してもらえるかが大切であること、などが指摘された。また登録費・参加費の負担があるので、下部の参加費などの金額調整が出来れば学連としてもいいのではとの意見もあり、引き続き検討することになった。

ヒアリングの詳しい内容については、今西理事より内容をまとめていただき、理事会にて別途報告があると説明があった。

(2) 交流戦の準備状況について

永田理事より、交流戦の準備状況の説明と合わせて、加盟校からの参加校、未加盟での個人・チームからの参加者についての報告があった。

西川運営管理本部長より、チームに配信する資料にスポーツ障害保険に加入を推奨するところあるが、大会が交流戦であり、事業計画にも記載がないことから、無保険を避けるため、レクリエーション保険に加入する予定であると説明があった。

4. 豊中市バスケットボールフェスタの実施報告

畠岸広報渉外部部長より、豊中市バスケットボールフェスタの実施内容について報告があり、来年度は、大阪体育大学に依頼をしていると説明があった。

5. 関西女子学連設立50周年事業（仮称）に向けての取り組みについて

荒木専務理事より、50周年記念事業を進めていくこととし、準備を進めいていきたいとの説明があった。

6. その他

坂井競技・強化本部長より、交流戦について、去年は履正社について、エキシビションマッチを行ったことに関わり、今年は交流戦を行うことで進めているが、履正社に関しては最後にエキシビションマッチを行うのか、交流戦の中で試合を進めていくのかについて、検討してほしいとの意見があり、希望を踏まえてどのようなことが可能か、引き続き検討していくこととなった。

西川運営管理本部長より、次回理事会日程は11月中旬頃を予定していること、年度内の理事会はあと3回を予定しており、年度内に審議が必要なものはスケジュールを想定して各部で準備を行ってほしいこと、規定について各部で所管しているところのルールなどをピックアップして整理を進めてほしいことなどについて、説明があった。

最後に古本総務部長より、次回の理事会は日程を調整しているところであるが、11月下旬を予定しているとの報告があり、閉会した。

(以上)